

令和 2 年度

事 業 報 告

常総市社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

今、私たちが暮らす地域では、少子高齢化や核家族化、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の増加、また地域で支えあう力の低下などにより、福祉や生活に係る課題が多様化、複雑化してきています。また、新型コロナウイルス感染症の広がりは、人と人との距離を取り、接触を減らす機会を減らすことを求めています。このため地域住民による福祉活動やボランティア活動は休止や延期など活動自粛を余儀なくされました。

この間、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業状態により収入が減少し生活が困窮する世帯の増加や、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行、社会的孤立の深刻さなども増しています。一方で、こうした状況は誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを知り、つながりを途切れさせない活動の重要性を改めて実感いたしました。

このような中、本会では行政や関係機関、ボランティア団体などと連携を図り、これまで培ってきたネットワークを活かし、第4次地域福祉活動計画の1年目として活動を進めてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画通りの活動ができなかつたことは否めません。

今後につきましても、感染状況等を勘案しながら創意工夫をこらし、第4次地域福祉活動計画に基づき、様々な課題を抱える住民に対する個別支援の体制づくりや地域のつながりづくりを進めてまいります。

令和2年度は、次のとおり事業を実施いたしました。

基本目標 1 支えあい・助けあいの地域づくり

～住民がともに「支えあい」「助けあう」地域づくりを推進します。～

○地域の支えあい・助けあいの関係が、さらに深まるよう住民主体の福祉活動を推進します。

社協支部活動支援

(1) 支部活動支援

各支部が住民主体の福祉活動に取り組めるように、それぞれの活動状況に合わせ、情報提供や相談支援を行った。

27支部 各支部では、新型コロナウイルス感染症の予防対策をとりながら、高齢者宅の訪問活動や健康づくり活動を実施した。

(2) 支部運営助成金の交付

支部活動の充実強化を図るため支部運営助成金を交付した。

27支部 2,062,700円

社協支部推進体制強化

(1) 支部長会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面での開催とし、助成事業の説明、社協会員会費の協力依頼を行った。

令和2年5月12日

(2) 支部研修会、情報交換会

先進地域の取り組みや地域福祉活動の動向についての知識を深めるための研修会や各支部の取り組みや課題などについての情報交換会の実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

地域福祉座談会

地域課題や福祉活動について、地域住民が気軽に話し合える機会をつくるための座談会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

○住民参加により、地域の福祉課題解決のための取り組みを推進します。

在宅福祉サービスせいむ

(1) 事業概要

家事や身の回りのお世話、子育てのお手伝いなど、日常で「こんな援助があれ

ば助かる（利用会員）」と「誰かのお役に立ちたい（協力会員）」を結ぶ、会員制のたすけあい活動を実施した。

会員数 協力会員 37人
利用会員 114人
利用回数 848回
利用時間数 1170.5時間

（2）協力会員養成

新型コロナウイルス感染症予防のため中止

お食事会

地域ボランティアの協力で70歳以上のひとり暮らしの方などを対象にした食事を11地区12会場で毎月1回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を中止し、ボランティアによる参加者宅の訪問活動を行った。

また、菅生地区、岡田地区の2地区では、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、短時間のお茶飲み会を開催した。

【訪問活動】

実施地区 11地区
訪問件数 227件
協力ボランティア数 239人

【お茶飲み会】

実施地区 2地区
実施回数 9回
延べ参加人数 113人

実施状況一覧

地 区	ボランティア団体	訪問活動		お茶飲み会		
		件数	ボランティア 人数	会場	回数	人数
水海道	ボナペティ・ひまわり	35件	37人			
豊 岡	なごみ	23件	25人			
菅原・大花羽	かんな	19件	20人			
三 妻	みつま	10件	19人			
大生・五箇	さくら会	13件	23人			
坂 手	やまゆり	20件	22人			
内守谷	陽だまり	13件	19人			
菅 生	しらとり会	16件	15人	菅生公民館	5回	55人
石 下	コスモス	24件	20人			
玉	まんまる玉	17件	17人			
岡 田	つくし	27件	22人	篠山農村集落センター	4回	58人

ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

地域の中の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり、元気づくり活動を推進するために、立ち上げや運営に必要な資金の一部を助成し、地域の交流の場づくりを実施した。

助成団体 26団体※新型コロナウイルス感染症予防のため、5団体が活動を中止。
中止した団体は助成金返還となった。

交流会 新型コロナウイルス感染症予防のため中止

ほほえみネットワーク事業

見守りが必要な方とその方を支える住民同士のつながりづくりを支援するため、ネットワーク表を作成し、管理・更新を行った。新型コロナウイルス感染症の影響から、外出や人と話す機会の減少が目立ったため、訪問するほかに電話での状況確認も実施した。

利用件数 32件

生活支援体制整備事業

石下中学校区と石下西中学校区に生活支援コーディネーターを配置し、高齢者宅への訪問や電話などで生活や介護などの困りごとを伺い、解決に向けた支援を行った。

また、社協支部や市、関係各所と情報交換、連携し、いざという時のためのネットワークづくりを行った。

高齢者世帯訪問数		石下中学校区	石下西中学校区
世帯区分	ひとり暮らし世帯	75	66
	高齢者のみ世帯	11	4
	高齢者とその他世帯	12	11

高齢者生きがい支援事業

(1) ペタンク・輪投げ大会

※新型コロナ感染症予防のため中止

(2) 第25回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会参加

※新型コロナ感染症予防のため中止

(3) 高齢者新春芸能大会

常総市シルバークラブ連絡協議会と共に、カラオケや舞踊などの芸能発表を行う。

※新型コロナ感染症予防のため中止

(4) 高齢者訪問

高齢者（88歳到達者344人）宅を訪問し、記念品を贈り長寿をお祝いした。
また、百歳到達者22人、最高齢者1人を訪問し、祝い金を贈呈した。

(5) レクリエーション用具貸出

貸出用具 輪投げ、グラウンドゴルフ、ペタンク、オーバルボール等
貸出回数 12回

○福祉情報を収集し、分かりやすい情報発信を行います。

福祉情報広報啓発事業

(1) 広報紙「ふくしJOSO」発行

地域の福祉情報や社協からのお知らせなどを掲載した広報紙を作成し、市内全世帯に配布した。

年4回発行（6月、9月、12月、3月）

(2) ホームページ運営

ホームページを運営し、最新の情報発信に努めた。
令和3年2月からホームページリニューアルした。

声の広報発行事業

ボランティアの協力により市広報及び市お知らせ版を音訳し、利用を希望する視覚障がい者に録音したCD等を送付した。また、チラシを作成して市・社協へ設置し、利用者の普及促進に努めた。

利用者数 11名

発行物（発行回数） 市広報（12回）、市お知らせ版（12回）

発行数 267枚

協力ボランティア数 15名

○自分のまちを、自分たちで支える活動を充実させていきます

社協会員会費募集事業

(1) 一般会員会費 全世帯加入を目標に会員募集を行った。

加入数 14, 529世帯（特別会員数2,778世帯、普通会員数11,751世帯）
会費金額 8, 565, 150円

(2) 法人特別会員会費

加入数 47社

会費金額 450,000円

赤い羽根共同募金運動への協力

茨城県共同募金会常総市共同募金委員会事務局として、赤い羽根募金、歳末たすけあい募金運動を実施した。

令和2年度共同募金総額 11,810,836円

運営委員会

第1回 令和2年9月24日 運営委員の選任、令和元年度事業報告、決算報告

第2回 令和3年3月26日 令和2年度補正予算、令和3年度事業計画、

収入支出予算

基本目標2 想いを尊重した生活支援

～一人ひとりの困りごとを受け止め、自分らしい生活を支援します。～

○住民一人ひとりが抱える様々な困りごとを受け止める相談体制を整備し、関係機関等と連携し課題解決に向けて取り組みを行います。

心配ごと相談事業

(1) 心配ごと相談 随時職員が対応

(2) 法律相談 弁護士による相談を実施

毎月第4火曜日 午後1時～午後4時

相談件数 30件

高齢者総合相談窓口

・高齢者を対象に生活面での困りごとなどの相談に応じた。

相談件数 15件

○多様な生活課題を抱える住民に対し、福祉サービス・制度の利用を通じて、その人の将来を見据えた自立した生活を支援します。

日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

認知症高齢者や知的または精神的に障がいのある方など、判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスなどを行い、在宅での日常生活を支援した。

生活支援員 12人

相談件数 4,092件

令和2年度新規契約件数 3件

令和3年3月末の契約件数 49件

(2) 研修等

- ・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会 令和3年1月28日
- ・令和2年度成年後見制度研修会 令和3年2月26日

貸付・食糧支援事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者のいる世帯、介護を必要とする高齢者のいる世帯の生活向上のため貸付、世帯更生指導を行った。

貸付件数	1 件
貸付金額	9 1, 0 0 0 円
償還金額	1, 0 4 2, 4 8 0 円
累計（令和3年3月31日現在）	
貸付中件数	3 7 件
貸付残高	9, 3 7 7, 9 1 4 円

(2) 緊急小口資金等の特例貸付制度

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けて特例貸付を実施した。

貸付件数	1, 3 0 5 件
貸付金額	3 6 4, 9 6 0, 0 0 0 円

(3) 小口貸付事業

低所得者を対象に短期無利子の貸付（限度額5万円）を行った。

貸付件数	1 3 件
貸付金額	4 8 0, 0 0 0 円
償還金額	2 4 2, 0 0 0 円
累計（令和3年3月31日現在）	
貸付中件数	1 0 件
貸付残高	4 6 8, 0 0 0 円

(4) 緊急食糧等提供事業

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ食料等の生活に必要な現物を提供することにより、世帯の自立を促し、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう支援した。

支援件数 9 0 件（主な提供物資…缶詰、米、レトルト食品等）

※提供物資について

令和元年7月から株式会社カスミと協定を結び、市内の店舗から月2回食糧物資の提供をいただいている。（令和2年度：米74kg、その他36kg）

また、社協（石下事務所）にフードバンク茨城の「きずなBOX」を設置し、食料品の寄付を受付している。

家計改善支援事業

常総市の生活困窮者自立相談支援事業と連携しながら、家計状況の課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付の斡旋等を行い、早期の生活再生を支援した。

新規相談件数 42件 ※うち申込件数 2件

継続相談件数 340件

相談取扱件数 382件

予約型乗合交通「ふれあい号」

(1) 運行開始日 平成21年10月26日

(2) 運行区域 市内全域（車両5台で運行）

(3) 利用対象者 常総市内に居住する方

(4) 運行時間 午前8時から午後5時（1時間毎に運行）

(5) 利用料 一人1回250円（利用券使用）

(6) 予約センター オペレーター5人が2交代制（午前、午後）で受付、配車

(7) 利用状況

（単位：日、人）

月	登録人数 (累計)	利用人数	年代別			運行日数	1日平均 利用人数
			0~29	30~59	60~		
4月	8,485	1,063	8	64	991	21	51
5月	8,506	900	8	50	842	18	50
6月	8,526	1,389	24	120	1,245	22	63
7月	8,541	1,413	33	136	1,244	21	67
8月	8,559	1,235	17	90	1,128	18	69
9月	8,584	1,415	36	108	1,271	20	71
10月	8,602	1,470	40	75	1,355	22	67
11月	8,616	1,242	22	76	1,144	19	65
12月	8,629	1,173	2	77	1,094	20	59
1月	8,653	929	0	69	860	19	49
2月	8,665	933	8	42	883	18	52
3月	8,672	1,194	10	50	1,134	23	52
計	8,672	14,356	208	957	13,191	241	60

歳末援護事業

歳末たすけあい見舞金の支給

市民からの善意の募金を、民生児童委員を通じて見舞金として支給した。

見舞金支給件数 119世帯

支給合計額 1,420,000円

福祉機器の貸出

車いすを一時的に必要としている方へ無料で貸し出し、外出や介護のサポートを行った。

貸出件数 46件

○地域で暮らす障がいのある方に対して、施設サービスの提供と包括的な相談支援を行うことで、地域生活の継続を支援していきます。

常総市心身障害者福祉センター管理運営

障がいのある方に軽作業を通じ生産活動の機会を提供し、就労に必要な知識・能力の向上を図った。

開設日 243日 利用登録人数 26名

(1) 環境の整備

茨城県の補助事業を受け作業机や作業用具等の備品を整備し、効率的かつ作業しやすい環境の構築を図った。

(2) 就労継続支援B型事業

工賃の取組み

- ・部品の袋詰めや箱折り、ハンガーの組み立て、カーテンレール部品組み立て、防災ラジオの箱折りや部材入れ。
- ・リサイクル（空き缶、ペットボトル、古紙等）回収。
- ・自主製品として「EMぼかし」「手芸品」の販売やオリジナルTシャツ、バックの受注プリント販売、野菜の生産販売。
- ・オリジナルマグカップ、オリジナル缶バッヂの製作販売。

平均工賃（1人月額）17,271円

就労への取組み

- ・一般企業と連携し施設外就労を行ない、利用者の就労への意欲を高めた。
- ・一般企業への就労体験の実施。
- ・つくばライフサポートセンターと就労支援に向けて調整を図り推進した。

(単位：回・人)

種 別	実施回数	延利用人数
作業訓練	243	5,177
生活活動支援	16	352
機能回復訓練	言語訓練	0
	リハビリテーション	12
給食サービス		4,729

(3) 広報、PR活動

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していた行事が中止となり「ふくし JOSO」での事業所紹介のみを行った。

(4) 関係団体の育成

障がい者団体の活動支援（事務局）を行ったが新型コロナウイルス感染症予防のため、活動を自粛した。

- ・身体障がい者福祉協議会（総会（書面開催）、役員会）
- ・手をつなぐ育成会（総会（書面開催）、役員会）
- ・聴覚障害者の会（総会（書面開催））

常総市児童デイサービスセンター管理運営

発達に心配のある子が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応できるよう心身の状態や環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

特別支援学校及び特別支援学級に通う中学生、高校生などを対象に放課後や長期休暇時に個別指導や就労支援事業所への実習体験等を行った。ほか各機関との連携を強化し、利用者に対し統一的な支援を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策では検温、消毒の実施、マスク着用の義務化、衝立、空気清浄機の設置をした。自粛期間中は教材提供及び相談援助等の代替サービスの提供を行い、自宅でも継続して療育を行えるよう支援した。

(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス

開設日 243日

①利用者の登録状況

(単位：人)

	人数
未就学児(0歳～6歳)	90
就学児(7歳～18歳)	54
合 計	144

②提供サービス別利用状況

(単位：回、人)

療 育 プログラム名	合 計	
	実施回数	利用人数
個別指導	1, 500	1, 500
言語指導	78	331
ポーテージ 集団指導	37	231
午前グループ	20	133
理学療法	10	32
作業療法	10	38

ポーテージ発達相談	16	59
年長児小集団	20	126
宿題サポート	29	97
長期休暇時特別プログラム	8	32
実習体験	2	6
代替サービス	103	103
合 計	1, 833	2, 688

③月別実績人数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
119	153	227	233	237	221	244	241	262	224	259	268	2, 688

(2) 連携事業

保健センター、教育委員会、保育所、幼稚園、小中学校、特別支援学校、医療機関など各関係機関と連携を図った。

(単位：回)

連携先（内容）	回数
保育所、幼稚園、学校（訪問、見学会）	21
教育委員会（就学説明会、就学面談）	15

その他

- ・教育補助員研修・教育委員会教育支援委員会
- ・保健センター発達相談同席
- ・基幹相談支援センター主催常総市事業所連絡会
- ・保護者交流会
- ・保健センター5歳児健康診断補助（新型コロナウイルス感染症対策にて未実施）

障がい者相談支援センター運営

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、「特定相談支援事業」「障害児相談支援事業」の指定事業所として、障がいを持つ人やその家族の相談に応じ、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成及び情報提供やサービスの調整を行った。

また、令和2年度から常総市より障害支援区分認定調査の業務委託を受け、調査を行った。

利用契約数 令和3年3月31日現在

特定相談支援 43人（うち令和元年度新規 2名）

障害児相談支援 164人（うち令和元年度新規 33名）

(1) 基本的な相談支援（契約者以外の相談）

面接相談： 0件

電話相談： 17件

各事業所からの対応についての相談が数件あった。

(2) サービス等利用計画・障害児支援利用計画の月別作成数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談支援	2	6	3	2	5	7	5	8	4	2	3	4	51
障害児相談支援	8	18	8	10	16	14	17	16	12	17	16	16	168

※途中で計画が変更になる場合は1人に対して複数回作成する。

(3) モニタリング(利用計画が適切かどうかの見直し)の月別作成

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談支援	0	4	2	2	4	4	3	2	1	6	6	6	40
障害児相談支援	22	10	16	15	17	16	27	24	21	21	25	29	243

※請求できるモニタリングのみ、計画前のモニタリングは含まず。

(4) 障害支援区分認定調査実施件数

1月審査会分 22件

3月審査会分 11件

(5) その他

- ・計画相談支援事業所連絡協議会へ出席 3回 (6/19、10/30、3/5)
- ・事例検討会へ参加 1回 (12/4)
- ・虐待に関する訪問 2件 (市役所こども課児童相談員と同行)
- ・障害支援区分認定審査会委員研修受講 2名
- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）受講 1名
- ・介護支援専門・相談支援専門員合同研修会参加 1回

基幹相談支援センター運営

市内在住の障がいをお持ちの方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、本人・家族・サービス事業所の方等からの各種相談や情報提供などの支援を行った。

(令和2年4月開設)

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

- ・障害の種別に関係なく、個人や事業所に対して各種相談や情報提供を実施

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	9	1	6	9	10	9	8	14	22	26	21	139

※相談者内訳 (実人数) 個人 32人
事業所 4人

※市役所 社会福祉課での相談支援業務を実施

週3日（火曜・水曜・金曜）9:00～16:00

(2) 相談支援体制の取り組み

- ・相談支援専門員の資質向上のための研修会の開催
 - 相談支援事業所連絡協議会 2回 (6/19 書面、10/30)
 - 事例検討会 1回 (12/4)
 - 意見交換会 1回 (3/5)
- ・福祉サービス事業所連絡会の開催
 - 障害児通所支援事業所連絡会 1回 (9/25)
 - 障害者支援事業所連絡会 1回 (11/27)
- ・市内幼稚園・保育園への訪問 13ヶ所
- ・福祉サービス事業所への訪問 25事業所

(3) ひきこもり相談・啓発

- ・保健所主催のひきこもり地域連携会議に出席 1回 (7/20)
- ・茨城県ひきこもり相談支援センターを訪問し、ひきこもり相談ケースの引継ぎ
- ・支援者のスキルアップを目的としてひきこもり研修会の開催
(今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
- ・民生委員児童委員協議会に出席 3回 (8/27、8/28、10/2)

(4) 地域移行・地域定着の取り組み

- ・保健所主催の地域移行連絡会に出席 1回 (7/20、12/4 中止)

○子どもたちの心と体を育む活動を地域ぐるみで推進していきます

三坂児童館管理運営

地域交流事業

地域の児童や親子に対し、新型コロナウイルス感染防止対策（利用人数の制限、三密回避、消毒）をとりながら、小集団での遊び、運動遊び、制作活動を通して、児童の健全育成を図った。今年度は感染症対策のため、開館していても行事を行えない期間が約6か月あり、集団での活動や地域交流の場を設けることが困難だった。

開設日数 200日 延利用人数 2,605人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

（4月1日から4日、4月13日から5月22日、令和3年1月19日から2月6日）

- ・おもちゃの広場（毎週火、木、金曜日）
- ・子育てサロン（幼児クラブ、ニコニコ広場）
- ・高齢者サロン（手芸教室、※シルバーリハビリ体操教室は感染予防のため休会）
- ・手作りおもちゃの会「ぬい＊ぬい」（毎月第1・第3木曜日）
- ・エコ活動（エコ工作教室、ペットボトルキャップ回収）
- ・リサイクルくるぶース（子供服・用品リサイクル事業）

- ・小学生対象料理教室、工作教室、お楽しみ会を開催
- ・児童の居場所づくり月替わりプログラムを実施（毎月クラフト、なんでも選手権）
- ・地域のボランティアへ協力を呼びかけ（読み聞かせ、行事等講師）
- ・相談業務（子育てに関する相談）相談件数21件、定例相談日開設（毎月第2水曜日）
- ・機関紙「スマイル通信」発行 月1回程度
- ・どんぐりマーケットを開催（11月～12月、どんぐり工場は8月～12月）

水海道児童センター管理運営

地域交流事業

地域の児童や親子に対し、新型コロナウイルス感染防止対策（利用人数の制限、三密回避、消毒）をとりながら、小集団での遊び、運動遊び、制作活動を通して、児童の健全育成を図った。今年度は感染症対策のため、開館していても行事を行えない期間が約6か月あり、集団での活動や地域交流の場を設けることが困難だった。

開設日数 200日 延利用人数 5,177人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

（4月1日から3日、4月14日から5月23日、令和3年1月18日から2月5日）

- ・おもちゃの広場（毎週月～金、第2・4土曜日）
延べ利用者数：大人1,227人、幼児1,575人
- ・子育てサロン（幼児教室アイアイ、ぴ～ちっち、ぴ～ちサロン）
- ・シルバーリハビリ体操（月2回 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止）
- ・地域のボランティアへ協力を呼び掛け（読み聞かせ）
- ・いいもの★み～つけ（子供服・用品リサイクル事業）（毎週月・水・金、第2・4土曜日）延べ利用者数 937人
- ・小学生対象行事 工作、運動遊び、子供ボランティア（児童公園清掃）などを開催
- ・相談業務（子育てに関する相談）相談件数76件、定例相談日開設（毎月第4木曜日）
- ・機関紙「いちにのさあ～ん」発行 年6回
- ・こども版発行 年3回

基本目標3 地域活動のつながりづくり

～地域に根ざした活動を応援し、つながりの輪を広げます。～

○ボランティア活動者・団体が楽しくやりがいをもって活動できるように、活動や運営の支援を行います。

ボランティア・市民活動支援

(1) ボランティア相談、紹介、登録

相談件数 9件

登録数 58団体、個人11人

(2) 情報発信

ホームページで登録団体、イベント、お知らせなど最新情報を提供
センターだより「DO-MO」発行（偶数月10日発行）

(3) その他の支援

ボランティア室貸出 82回

ボランティア活動に対する保険加入案内

保険加入者 1,014人

行事用保険加入件数 17件

各種助成金情報の案内

赤い羽根地域づくり応援助成事業

市民が自主的に行う高齢者介護予防、生きがいづくり、障がい者支援、防災など地域福祉活動を応援するため、助成事業を実施した。

審査委員会の開催 7月15日、12月15日、3月17日

助成交付団体 32団体

助成金額 1,514,000円

※新型コロナウイルス感染症流行の影響により、活動を中止または縮小した団体は助成金返還。

常総ボランティア連絡協議会事務局

常総ボランティア連絡協議会支援

登録ボランティアのネットワークづくり、自主運営の支援を行った。

登録数 25団体

会員数 534人

情報発信 会報「たんぽぽ」発行（1回）

常総市シルバークラブ連絡協議会事務局

(1) 常総市シルバークラブ連絡協議会の育成

高齢者の中核組織であるシルバークラブ活動の充実強化に努めた。

登録数 45 クラブ

(2) 委員会活動の育成、援助

寿学級運営委員会、健康推進委員会

(3) 趣味・教養活動の推進

(単位：人)

講座・教室名	開催時期	開催場所	参加人数
高齢者新春芸能大会	中止	地域交流センター	-
わくわく美術展 (作品受付窓口として対応)	新型コロナウイルス 感染予防対策により 中止	県民文化センター	-

学校消毒ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症予防対策として、活動を希望する市内小中学校において、ボランティアの協力により校内の消毒作業を実施した。(令和2年11月開始)

ボランティア登録者 124名

活動場所 市内8校 (大生小、五箇小、豊岡小、菅原小、大花羽小、石下小、豊田小、玉小)

活動回数 延145回

○地域の福祉活動に興味を持つきっかけとなるような福祉教育を行うとともに、地域を支える福祉人材の育成をボランティア市民活動団体のネットワークづくりを進めます

ボランティア講座

次の講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

- ・初級点字養成講座
- ・要約筆記ボランティア養成講座
- ・福祉出前講座

○ボランティア活動者・団体、福祉施設などの交流・協力・連携を進めることで、地域福祉活動のつながりの輪を広げていきます。

ボランティア市民活動団体交流事業

(1) ふくし祭り

福祉施設、ボランティア団体などと協働し、市民に向けた福祉啓発イベントの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

(2) ボランティア・市民活動団体支援

市内各種団体などと交流事業、連携・協働事業を行った。

(単位：人)

事業名	連携・協働団体	実施日又は期間	参加人数
お食事会	ボランティアサークル12団体	通年	延113
声の広報発行	音訳ボランティア	通年(24回)	15人

災害ボランティアセンター運営

災害時に備え備蓄品の整備を行ったほか、市防災危機管理課と連携を図り、災害時のボランティア受け入れ内容について調整を行った。

発展目標　社協の基盤整備を進めます

理事会・評議員会等の開催

(1) 理事会

第1回	開 催 日	令和2年5月26日（書面開催）
	報告事項	寄付金受領報告、顕彰該当者報告
	協議事項	令和元年度事業報告、令和元年度一般会計決算、居宅介護支援運営規程の廃止、訪問介護運営規程の廃止、障害福祉サービス運営規程の廃止、介護予防訪問介護運営規程の廃止、介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業運営規程の廃止、障がい者相談支援センター運営規程の一部改正、評議員選任・解任委員会委員の選任、評議員選任・解任委員会の招集、評議員の推薦、評議員会の開催
第2回	開 催 日	令和2年11月5日開催
	協議事項	社会福祉協議会に対する損害賠償請求訴訟
第3回	開 催 日	令和3年3月19日開催
	報告事項	評議員選任・解任委員会報告
	協議事項	令和2年度一般会計収入支出補正予算、事務局規程の一部改正、事務局職員就業規程の全部改正、福祉専門職員の雇用に関する規程の廃止、嘱託職員の雇用に関する規程の廃止、臨時職員及びパート職員の雇用に関する規程の廃止、臨時職員就業規則の制定、事務局職員の再雇用に関する規程の全部改正、福祉専門職員の再雇用に関する規程の廃止、職員の給与等に関する規程の全部改正、嘱託職員の給与に関する規程の廃止、登録職員に関する規程の廃止、職員の育児休業、介護休業等に関する規程の制定、職員の退職手当に関する規程の制定、職員の旅費に関する規程の全部改正、懲戒等審査会規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約の締結、令和3年度事業計画、令和3年度一般会計収入支出予算、評議員会の開催

(2) 評議員会

第1回	開 催 日	令和2年6月15日（書面開催）
	報告事項	顕彰該当者報告、寄付金受領報告、評議員選任・解任委員会報告
	協議事項	令和元年度事業報告、令和元年度一般会計決算
第2回	開 催 日	令和3年3月26日
	報告事項	社会福祉協議会に対する損害賠償請求訴訟の終結
	協議事項	令和2年度一般会計収入支出補正予算、令和3年度事業計画、令和3年度一般会計収入支出予算

(3) 評議員選任・解任委員会

第1回 開催日 令和2年6月5日

協議事項 委員会趣旨説明、評議員選任

(4) 正副会長会議

第1回 開催日 令和3年1月22日

協議事項 社協の現状と検討事項の共有

(5) 監事会

第1回 開催日 令和2年5月20日

協議事項 令和元年度一般会計監査

令和元年度茨城県共同募金会常総市共同募金会委員会会計監査

第2回 開催日 令和2年11月18日

協議事項 令和2年度一般会計（4月～9月）監査

